

令和5年9月28日

会員各位

公益社団法人全国老人保健施設協会
事務局

「認知機能の評価表検証調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より当協会の運営に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、厚生労働省より、令和5年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「認知症の評価尺度のあり方に関する調査研究」における標題「認知機能の評価表検証調査」について、昨年度に引き続き協力依頼がございました。(全老健会員専用ページ掲載 別添1参照)

現在、介護現場では認知症の指標として、「認知症高齢者の日常生活自立度」や、行動心理症状を評価するDBD13や Vitality Index が LIFE 等で使用されております。しかしながら、これらの指標では、認知症高齢者の尊厳の保持や自立支援に資するための十分な評価が行われているとは言い難く、当協会においても要介護高齢者が現在ある認知症の本来の認知機能の評価する尺度が必要であると主張してきたところでございます。

本検証調査は、この事業で作成した認知機能の評価表案を介護現場の職員の方々に試行的に使用いただき、その結果を踏まえ、介護現場で利用可能で簡便、かつ利用者の状態像に合わせ尊厳あるケアの提供につながるような評価表を構築し、今後の介護現場における認知機能の評価指標として活用されることを目指す重要な事業でございます。

(令和5年8月30日に開催された来年度の改定を検討する第222回介護給付費分科会の資料でも紹介されたところです。)

そこで、本事業が当協会の主張とも合致するとともに、この検証調査の重要性にも鑑み、本年度も当該事業に協力することと致しました。

つきましては、別添2『認知機能の評価表検証調査へのご協力をお願い』と本検証調査の実施要領を以下の URL よりご確認頂き、

実施要領等はここから⇒ <https://www.roken.or.jp/archives/33344>

本調査にご協力いただける施設におかれましては、**別紙**に施設とりまとめご担当者等を記入の上、本事業の委託業者である『みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社』(下記メールアドレスもしくはFAX)宛に、令和5年10月13日(金)までに、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

会員施設の皆様におかれましては、既に多くの調査研究事業の調査票等が届いているなか、大変恐縮ではございますが、本検証調査の結果が制度化される可能性もある重要なものですので、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

【本事業の委託業者およびご連絡先】

みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社 社会政策コンサルティング部
TEL:0120-145-277 (受付時間:平日10時~12時・13時~17時)※年末年始(12/29~1/4)を除く
FAX:03-5281-5443 E-mail:ninchi@mizuho-rt.co.jp